



2021年6月11日

各位

会社名 株式会社オハラ  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 齋藤 弘和  
 (コード番号 5218 東証第1部)  
 問合せ先 取締役専務執行役員 中島 隆  
 (TEL 042 (772) 2101 (代表))

### 第2四半期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2021年3月12日に公表いたしました2021年10月期第2四半期連結累計期間(2020年11月1日～2021年4月30日)の業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年10月期第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績値との差異 (2020年11月1日～2021年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,000	百万円 100	百万円 200	百万円 100	円 銭 4.11
実績値 (B)	10,538	284	501	292	12.01
増減額 (B-A)	538	184	301	192	—
増減率 (%)	5.4	184.5	150.9	192.2	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年10月期第2四半期)	9,444	△1,000	△897	△1,134	△46.63

#### 2. 差異の理由

売上高につきましては、デジタルカメラ市場において新型コロナウイルス感染症による反動増およびミラーレスカメラの需要増により光事業の売上が増加したことや、旺盛な半導体需要によりエレクトロニクス事業の売上が増加したことなどから、前回予想を上回りました。

損益面では、生産設備の稼働率の改善や、営業外収益として新型コロナウイルス感染症に関する助成金収入および特別利益として投資有価証券売却益を計上したことなどから、前回予想を上回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、事業環境は回復傾向にあるものの、新型コロナウイルス変異株の感染拡大や、中国一部地域の電力不足による操業への懸念などから、2021年3月12日に公表した連結業績予想を据え置くことといたします。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上